

2 月度木曜例会

## 「Morocco, the land of the setting sun」

# エキゾチックで多彩なモロッコを紹介

Lemlih Abderrahaman さん

アフリカ北西部、アラブ・イスラム世界の最西端に位置するモロッコは「陽が沈む国」の異名を持ちます。極東の「陽が昇る国」日本とは歴史、文化、宗教、食物など様々な面で違いがあり、それだけに、エキゾチックな魅力と面白さがいっぱい。今回は、アラブ諸国の中で最も安定した国と言われるモロッコから来日、日本人の夫人を持ち、茨木市に住む Lemlih Abderrahaman さんに「The land of the setting sun」と題して母国の概要を語っていただきました。IIN がモロッコからのスピーカーを迎えるのは初めてということです。



Abderrahaman さん=写真左=のニックネームはエイブ。エイブさんはモロッコの首都、ラバト出身。ラバトのモハメッド 5 世大学で経済学を、カナダのアルバータで IT 学を学び、ここで夫人と出会って結婚。長くロスアンゼルスにも住んだことがあります。日本には昨年 3 月に来日、フランス語と英語を教えています。各種スポーツのほかビリヤードやチェスも楽しむ多芸の人。

エイブさんはアフリカ全体も含め、盛りだくさんの内容を語ってくれました。以下は要約です。

### Geography

モロッコは立憲君主制の国。選挙で選ばれた議会があり衆、参両院の 2 院制。東部は地中海に、西部は大西洋に面し、ジブラルタル海峡をはさんで対岸のスペインまでわずか 12 キロの距離。南西から東北にかけて 3500m 級のアトラス山脈が伸び、この雪が溶けて大地を潤し、農業を支えている。北側にはリーフ山脈が走り、南には灼熱のサハラ砂漠が広がる地形。



モロッコの国旗と地図

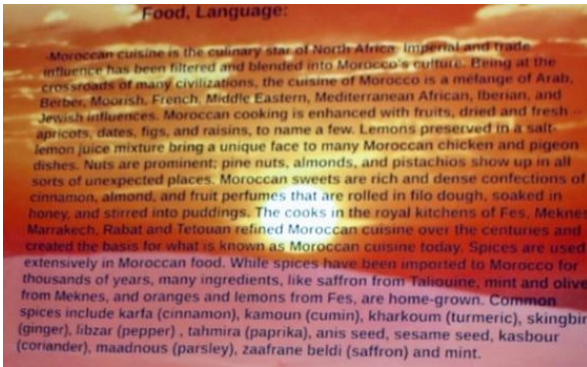


首都、ラバトの市街



アトラス山脈の北側は温暖な地中海性気候だが、南側は乾燥した砂漠気候。主な 6 本の河のうち最長は大西洋に流れ込むダラ河で 1200 キロ。サハラ砂漠を流れるため、季節によって砂の中に消えることもある。

モロッコ南西部の半砂漠地帯ではこの国にしか育たないアルガンツリーの森が広がる。美容と健康に優れた高品質のアルガンオイルが採れることで有名。ナツメヤシは重要な伝統的な食べ物。聖書に 50 回以上、コーランには 20 回以上登場するこの植物は、非常に乾燥した砂漠をもつモロッコにとっては、生育に完璧な土地とされている。ナツメヤシはミルクとともに、ラマダン（断食）明けの最初の食事になっている。



### Demography

モロッコの人口は 3400 万人で、国土面積は 44 万 6000 km<sup>2</sup> (日本は 37 万 8000 km<sup>2</sup>)。最大の都市はカサブランカ。首都ラバトはすぐ北東にある。

25 歳以下の若者が 47% 以上を占め、日本と違って正常な人口ピラミッドを構成している。平均寿命は男 72.8 歳、

女 79.1 歳。教育制度は日本と同様の 6・3・3 制です。

### History

多くの遺跡が示すように、歴史は非常に古い。紀元前 2000 年ごろからベルベル人が住み着き、その後、フェニキア、カルタゴ、ローマ、ヴァンダル人（ゲルマン系部族）も入ってきた。紀元 8 世紀ごろにアラブ人がモロッコを征服、イスラム教がもたらされた。王国が続き、17 世紀に、現在に続くアラウイ王朝が創設されたが、20 世紀に入ってフランスの保護領、スペインの委任統治下に入った。

1956 年に独立、1971 年には住民投票による新憲法が制定され、現国王、モハメッド 6 世が即位して以来、新しいヴィジョンの下、変革を掲げて民主化を進めている。スペイン統治下にあった西サハラなどの領土も次々、返還されつつあるという。

### Economic Systems

モロッコ経済は世界 2 位の産出量を誇るリンと観光業が大きな柱。鉱物資源は鉄、鉛、マン



山脈と河の流れを説明するエイブさん

ガン、コバルト、亜鉛、金、銀、銅、ニッケル、ウランなどと豊富だが、石油と天然ガスは採れない。リンは 1100 億トンの埋蔵量を誇り、世界の備蓄量の 75% を占める。

漁業はモロッコ西岸のカナリア諸島付近がイワシ、カツオ、マグロ類などが多く、大西洋で最も漁業資源が豊か。しかし、モロッコは近代的で大型の漁船や設備が不十分で、メリットを生かせていない。スペインなどヨーロッパの国々がモロッコの海域で捕る魚に対し、漁業権の支払いを受けている。

塩は料理用の良質の塩が採れ、輸出されている。金融業、資本市場、保険業なども改革と発展が続いている。

モロッコにとって、非常に重要な旅行業の分野では、国内旅行者のためにも、道路、鉄道、空港、ホテルなどの整備が進められている。政府は、年間 1100 万人の現在の旅行者数を、2020 年には 2000 万人にまで増やす目標を立てているが、達成は容易ではなさそう。400 万人以上が従事する農業は、生産性を向上し、競争力を高めることが課題。

### サハラの砂漠に広大な太陽光発電所

今後、有望な分野と期待されるのが太陽光発電。西サハラの広大な砂漠に数百キロに及ぶソーラーパネル・フィールドを建設中だ。クリーンなエネルギーを生み出し、国内消費だけでなく、まず、スペインなどに売電する計画。1 日 14 時間以上の日照時間を生かせるという。



モロッコの砂漠に沈む夕日（フリー画像から）

長い歴史を通じて多くの文明の十字路だったため、モロッコの料理はアラブ、ベルベル、フランス、イベリア、中東、ユダヤなどの影響を受けており、多様でバラエティーに富んでいる。スパイスが多用されるのが特徴だ。

### Political Systems

1999 年に王位を次いだモハメッド 6 世は、モロッコの将来について、より、民主的で自由な方向を目指して社会改革、経済改革に取り組んでいる。

2011 年の憲法改正では、それまで国王から任命されていた総理大臣は最大政党から選ばれることになり、閣僚も総理大臣が任命、議会を解散する権限も持つことになった。とはいえ、国王はなお、国家の安全、軍事、宗教の分野で強い権限を持っている。2011 年に始まった「アラブの春」（チュニジアから始まったアラブ諸国での大規模反政府デモ）以降は、国王の権限縮小、首相の権限強化を実現。他のアラブのイスラム諸

国と違って、最も政情の安定した国となっている。

イスラム教を国教としており、イスラム世界で圧倒的多数を占めるスンニ派が99%を占める。しかし、他の宗教にも寛容で、キリスト教徒やユダヤ教徒も信仰を保障されている。

言語はアラビア語とベルベル語が公用語。フランス語は準公用語の扱いになっている。

## アフリカ

エイブさんはアフリカ全体についても言及。

アフリカ大陸は54か国ある中で、植民地にされなかったのはエチオピアとリベリアだけ。50%以上が25歳以下で、資源は豊富だが全般に貧しい発展途上国である。

近年は、中国の投資が突出しており、その額は5兆円以上に達し、アフリカ全土に100万人以上の中国人がいて、このうち、35万人がアンゴラに住んでいる、という

## Q&A

—国民の識字率は？

「まだまだです。国民の25%くらいは読み書きができない。近くに学校がないなど問題が多い。特に、山間部の住民、高齢者が遅れており、ここ15年、識字率を上げる努力が続けられている。JICA（日本の国際協力機構）が良い学校を作って協力してくれている」。

—女性の活躍はどの程度か。

「若い女性の教育は遅れている。男女平等になっていない。ただ、すべての分野で男女平等のアクセスが求められており、医者や法律家、警察官などもいるが、まだまだ少ない。富の分配、地域間の格差なども大きい」。

このほか、日本人の名前をアラビア文字で書いてほしい、という要望に応じて説明。

「アラビア文字は25文字だけで表せる。ひらかな、カタカナ、漢字がある日本語よりずっと簡単です」と笑っていました。会員から「モロッコとヨーロッパが非常に近いことを知って驚いた」という声もありました。

最後に、エイブさんは、数人ずつに分かれたグループを回り、会員の質問に答えました。

なお、以下のcodeをクリックすると、この日のプレゼンの紹介文をご覧になれます。

[http://prezi.com/zh1ehzoevcgv/?utm\\_campaign=share&utm\\_medium=copy&rc=ex0share](http://prezi.com/zh1ehzoevcgv/?utm_campaign=share&utm_medium=copy&rc=ex0share)



会員の質問に答えるエイブさん